

# 議 事 録

## 1. 開会

## 2. 委員紹介

## 3. 座長指名

## 4. 議事

### (1) 説明事項

#### ①本宮市の人口動態について 資料1

(座長)

- ・転出が多い年代は。

《事務局》

- ・10代から20代の年代が多い。大学進学などが理由として多い。

(座長)

- ・県内の転入転出の状況だが、転入超過となっている。どこからの転入が多いのか。

《事務局》

- ・郡山市や二本松市からの転入が多い。転入の理由を見ると、住宅購入が多い。  
また、本市は企業が多いため、転勤を理由に転入してくる方が多い。家族単位で異動される方が見られるので、景気等の動向も注視していかなければならない。

(座長)

- ・40代位の年代層が多いのか。

《事務局》

- ・比較的若い30代が多い。転勤と併せて住宅購入される方もいる。  
本市では定住促進策として、事業者が宅造造成をした際に、宅地造成奨励金を出している。  
昨年度の実績は110区画となっており、タイムラグはあるが、そこに若い世代が住宅を建てている状況。

### (2) 協議事項

#### ①地方創生関連交付金事業について 資料2

(委員)

- ・全国まゆみちゃん交流プロジェクトについて、プロジェクトの会員になっているという東京の方が、お店に来店された。人とのつながりを感じられ、良い事業だと思っている。  
コロナウイルス感染症拡大が落ち着いたら、全国のまゆみちゃんを本宮に集めたら、たくさん来ていただけるのではないかと思う。続けて欲しい事業だと思っている。

(座長)

- ・1回目のイベントは人が集まる傾向があるが、今後持続的に本宮の応援団として全国のまゆみさんに活躍していただくにあたって、事務局として事業に対する展望はあるのか。

《事務局》

- ・昨年度は、会員募集をメインに行った。コロナウイルスが収束していない中で、参加してくださった方との関係を繋ぎ止めなくてはならないと考えている。  
現在、LINEのオープンチャット機能を活用して、情報交換の場の提供をしている。ただ、顔を合わせて話をしたいといった要望もいただいている。コロナが収束するまでは、Zoomを活用して情報交換や関係構築を進めていきたい。

(座長)

- ・まゆみちゃんプロジェクトの会員になるにあたり、権利や義務、特典は発生するのか。

《事務局》

- ・大きくは、本宮市のPR大使となっていたらいいと思っている。  
会員番号やHPのURLが記載してある名刺をお配りし、本宮市は面白いことをやっている、名刺交換をした方に認識してもらい、本市の知名度の向上に協力していただくようお願いしている。

(座長)

- ・事業に対する感触は。

《事務局》

- ・想定をはるかに上回る状況となっている。47都道府県と海外からも会員登録をいただいている。コロナ禍でも、関係を繋ぎ止めて、市民と一体となった事業や市の課題解決に寄与できればと考えている。

(座長)

- ・委員は農業関係者ということで、担い手支援事業について意見はあるか。

(委員)

- ・昨年からの活動が始まったが、コロナ禍で活動が制限されてきた。活動としては、仲間のほ場を見学し、意見交換をおこなった。ただ、生産物を県外へ売り込みに行けないなど苦労したが、インターネットを介して生産物を販売、広報をおこなった。

(座長)

- ・今後こういった事業があった方がいいか。

(委員)

- ・若手農業団の構成が30代以上の方が主となっており、20代で農業に興味のある方を募集していきたい。儲かる農業を目指して頑張っていきたい。

(座長)

- ・市民が主役のまちづくり推進事業については、若い方、中・高校生が参加しているのか。

(委員)

- ・本校の生徒も参加している。私自身も2期生として参加させていただいた。主体的に今後のまちづくりについて考えることができたと思う。意見交換や情報交換ができ、貴重な事業だと感じた。ただ、本校の生徒全員が参加できたわけではないので、参加した生徒に核になってもらいながら、学んだことを総合的な探求の授業で活かしてもらえると、つながりが出て

くるのではないかと思う。2期でまちづくり推進事業は、区切りをつけると聞いたので、今後の方針や展望を事務局の方からお聞かせいただきたい。

《事務局》

- ・1、2期生は市民の方々とワークショップを中心に事業を展開してきた。今年度以降については、今まで考えてきたものを実行していくことや皆様と情報交換や意見交換ができるサロンのようなものを設けて、場の提供をしていければと考えている。

(座長)

- ・高校側からもっとこうして欲しいといった意見はあるか。

(委員)

- ・本宮市と包括連携協定を結んだ。高校側として、子ども達の動きを地域の方や周囲の方に対し、見える化を図らなければならないと考えている。本宮市の広報紙にも企画を載せていただいている。学校側として、子ども達がどのような活動をしているのか、多く方に見てもらえるようにしっかりとやっていかなければならないと考えている。

(委員)

- ・白河市から本宮市に来た者としての立場からお話しさせていただく。今回、せっかくなので本宮市をPRしたいと思い、LINEのスタンプを購入して友人へ送ったが、「まゆみちゃん＝本宮市」となっていない現状がある。まだまだ知名度が低いように感じられる。英国庭園もせっかく良い施設があるのに、周辺自治体の方に認知されている程度で終わってしまっているように感じる。本宮にとって、ターゲットをどこにするかが重要ではないかと思う。来る前は分らなかったが、実際に本宮に来て、施設を見て良いものがたくさんあると感じているため、伝えなければ人は来ないので、PRをもっと強化すると良いのではないか。

《事務局》

- ・市としてもPR不足を感じているところであり、コロナ前は、例年首都圏の移住相談会へ参加していたが、そこで本宮のブースに訪れた方の大半は、本宮市ってどこにあるのかという方がほとんどであった。

今後市もPRが効果的にできる事業を考えていきたいと思う。

(委員)

- ・全国まゆみちゃんプロジェクトについてだが、47都道府県の会員がいるということで、まゆみちゃん人形を旅させてはどうか。会員へ人形を送って、各地の名所や地元の有名なものとコラボレーションをして写真を撮影し、SNSで発信してもらえばPR効果があるのではないかと思う。

英国庭園のガーデナーについてだが、個人で鉢植えやガーデニングをやっている人がいるので、イベントを開催する際に、そういった方を巻き込んでいけると面白いと思う。

《事務局》

- ・まゆみちゃんに旅をさせる準備をしているところで、現在協力してくださる方を募集している。プロジェクトへ参加している方へ会員証を交付しているので、本宮市へ全国のまゆみちゃんに集まっていた際に、会員証を提示すると特典やサービス受けられるなど、商店街へお金を落としてもらえようような体制を、地域ぐるみで構築をしていきたいと考えている。

(委員)

- ・英国庭園の名前は知っていたが、行ったことはなかった。コロナ禍でもイベントを実施しているのか。

《事務局》

- ・常にイベントを開催はしていない。季節折々の草木花が楽しめる施設となっている。今だと、バラが見頃となっている。5月29日から6月9日にかけてフラワーフェスティバルを開催する予定となっている。初日には、本宮高校や白沢中学校の吹奏楽部の演奏などのイベントを企画している。週末は、障がい者の団体に運営をお願いしている売店があり、お菓子やお茶などを販売しているので、是非来ていただければと思う。

(委員)

- ・先ほど人を巻き込むことが重要との話があったが、ママ友のコミュニティを活用すると有効かもしれない。口コミで良いものはすぐに広まるので、お昼を跨いで、ゆっくりできる体験型の親子で参加できるイベントや、子どもが興味を持つ仕掛けがあると効果的だと思う。

(委員)

- ・英国庭園は、子どもがいれば長い時間遊ぶことができるが、大人だけで行くとすぐに見終えてしまう。英国庭園から次に観光ができる場所の案内があったりすると良いのかもしれない。
- ・多世代交流施設のKPI③だが、60歳以上の方が多く転入していることに驚いた。定年後時間がある方が多い、一緒になってまちづくりができるイベントがあってもいいのかと思う。

《事務局》

- ・高齢者だけを対象としたイベントはないが、まちづくり塾では10代から70代の幅広い年齢層の方に参加していただいている。昨年度は、それぞれの年代が持っている意見を出し合いながら、よりよいまちづくりをするための意見交換や情報交換を行っている。今年度は、誰もが参加でき、情報交換ができる場づくりをしていきたいと考えている。

(座長)

- ・高齢者は多く転入してきているが、異動事由はどんなものがあるか。

《事務局》

- ・異動事由については、詳細を分析していないため次回お示ししたい。

(委員)

- ・英国庭園のイベントだが近隣市町村向けのような感じがする。コロナが収束すれば、ガーデナーがたくさん集まるイベントが実施できるといいのでは。
- ・まゆみちゃんプロジェクトについては、色々な事業へ派生していくと面白いと思う。
- ・佐野市でも同様に企画を行っているので、コラボレーションできると面白いと思う。

《事務局》

- ・コロナ禍で屋外のイベントでも大々的に行うのは躊躇されるところですが、春祭りやロードレース大会と感染対策を講じながら実施してきた実績はあるものの、やはり感染が怖いということで、イベントの開催には消極的になってしまう。ただ、こういった時期だからこそ、市のイメージアップにつながる事業展開について考える時間があると捉え、各部において十分検討を行わなければならないと考えている。

(座長)

- ・旅行会社で、バーチャル旅行などできるコンテンツがあるのでそういったものも活用するといいかもしれない。

《事務局》

- ・本宮市は観光地があるが、点と点の状態で、周遊できるような状況とは言えないので、効果的なPR方法を検討していきたい。

(委員)

- ・まちづくり推進事業では、市内企業等と共同して商品開発などおこなっているか。

《事務局》

- ・まちづくり推進事業では、空き店舗を活用したファッションショーなどを行った。

(委員)

- ・英国庭園が完成したばかりの時に行ったことがある。頭の中でバラ園といったイメージがあった。子どもの施設なのかバラ園なのか線引きがわからない部分がある。英国庭園としてPRするのであれば、規模をそれなりに大きくしないとアピール度が低くなってしまうと思う。
- ・市のキャラクターまゆみちゃんだが、まゆみちゃんのバッチを付けている人をあまり見たことがない。やるのであれば市民や企業などを巻き込んで、PRをしていかないといけないと思う。地元の人がやらないとアピール度が低くなってしまう。

## ②もとみや結婚サポート事業について 資料3～6

(座長)

- ・この事業は直営なのか、委託なのか。

《事務局》

- ・イベント自体は、業者に委託をしている。

(座長)

- ・事業の成果は、成果が上がっていると見ていいのか、事務局としての分析は。

《事務局》

- ・出会いの場の創出という意味合いであれば、成果が上がっていると言えると考えている。ただ、成婚率となると、行政側でどこまで個人に介入してもいいのかという問題があるので、そこが課題である。

## 4. その他

なし。

## 5. 閉会

以 上